

報告してくるなど、歌やことばの学習に対する動機づけが高まってきたようである。

更に、歌詞に有ったことばが出てきた時、児童たちが歌詞カードを、そのことばの理解や想起の手がかりとして使ったり、自分がことばを見つけたことを面白がる様子が観察され、他の教科で学習したことばが別の場面での学習に結びつくことに気づいたようである。

しかし、まだ日常生活、学習場面ともに、理解し使用できる語いや構文は不足しており、更に多くの活動を通して、児童たちの言語構造の拡充と言語学習に対するかまへの形成を図っていく必要があると考える。そのため、どんな視点からことばを準備し、どんな使用をさせたらよいか、教師の働きかけとそれに対する児童の反応と学習の状態から探っていく考えである。



表2 「おもちゃのちゃちゃちゃ」における活動の実際

時間	活動	教師のはたらきかけと留意点	子供の反応と指導
2	1. レコードの歌にあわせて歌う。 2. 歌詞カードを見ながら、レコードにあわせて歌う。 3. 歌詞にあわせた身振りを入れて歌う。	1. 聴きとり、読話できる歌詞、印象に残る情報の把握 ・「なんのうたか」 ・「なにがきこえてきたか」質問する。 2. ことばの理解の確認 ・M・Kでは、一単語ごとを指でマークし語のかたまりに注意し口声模倣させる。 ・K・N、I・Aでは音像の不確かなために言いよどむのはどこか確かめる。特にK・Nは自分の言い慣れた言い方で言ってしまった、あいまいな発音のままであったりするので1つ1つていねいに発音するよう注意する。 3. 歌のイメージ化をはかる ・M・Kでは、身振りを加えると歌うことを忘れてしまいがちなので歌いながらするよう、うながす。	K・N、I・Aは、この歌を知っており、おもちゃ、ちゃちゃちゃ、おほしさ等がわかる。 M・Kは ちゃちゃちゃのくり返しがあることに気づく M・K おほしさ、へいたい、ラッパ、こひつじ、こねこ、こぶた、まど、おひさま等と絵や動作と対応させ理解をはかる。 K・N、I・A なまりのへいたい、ならして、フランスにんぎょう、おもちゃばこ等言いよどむ。又、おもちゃとおもちゃばこの区別がついていなかった。
2	4. 「おもちゃ」について話しあう。 (1)自分の持っている「おもちゃ」知っている「おもちゃ」について話したり、絵本を見たりして、おもちゃの外延を拡げる。 (2)「おもちゃ」とは何か、何をすることを話しあう。	4. おもちゃの概念の理解・拡充をはかる。 (1)・「みんなはどんなおもちゃを持っているか」質問する。始めは、K・N、I・Aに答えさせ、それを手がかりにM・Kの発語を誘う。 わからない時は身振り等で誘導する。 ・自分たちの持っているおもちゃがあるか質問、更に絵本を手がかりにどんなおもちゃがあるか話す(ロボット、つみき、わなげ) (2)・「おもちゃで何をするの」「なにをするものか」→「おもちゃはあそぶもの、おもちゃであそぶ」	I・A ・トラック、ダンブカー、ゲーム きる、たべる→ままごと、あかちゃん→おにんぎょう K・N ・サッカー→サッカーのボール こうやってこう→ファミコンゲーム M・K 動作でボール、ゲーム等 ・絵本をみたあと トランプ、カルタ、えほん K・N、I・A あそぶ→あそぶもの、あそぶ時につかうおもちゃであそぶ
2	5. 自分の好きなおもちゃのペーパーサートを作り、歌いながらペーパーサートでミニ劇をする。	5. 歌のイメージ化をはかる。 ・歌に出てくる物のペーパーサートを名前を確認しながらみせ、自分の好きなおもちゃのペーパーサートを作ることを誘う。 ・歌の流れにそって交代でペーパーサート进行操作する。	I・A ・ままごと K・N ・ゲーム M・K ・なかなか何にするかきまらず絵本をみてきめる。 (現時点での指導はここまで)
2	6. 歌の登場物の特徴、行動、起っているできごとやその時間をことばでまとめたり、表現したりする。	6. 歌のよみを深める。 ・いつのことかな。 ・おもちゃたちはどうしたの。・へたいはどんなへ ・おにんぎょうはどんなおにんぎょう。 いたい ・へたいは何をならしているの。 ・フランス人形はどんなドレスをきているの。 ・花のドレスをきているのはなに。 ・めえめえなっているのはなに。 ・おもちゃたちの何のひ。 ・おほしさはどうしたの。 ・子供たちは何をしているの。 ・どうしてさようならをしたの ・おもちゃたちはどうしたの。	
2	7. 歌詞を自分の好きな物やことばと入れかえて替え歌にして歌う。 (例) おかしのちゃちゃちゃ ことばのちゃちゃちゃ (小1国語「あいうえお・ん」の詞をあてはめて歌う)	7. おかしのちゃちゃちゃの歌だったらどうなるのかな。 ・好きなおかしの名前を言い、そのことばに合う文や句を考える。 ・あいうえお・んの詞で覚えているところも言う。 それらをおもちゃのチャチャチャのリズムメロディで言うてみる。 ・他にどんなちゃちゃちゃがあるか考えを出しあう。	

※指導の時間は、1単位10～15分、5の活動と7の活動は30分程度に延長して実施する。必ず歌う活動と組み合わせる。